令和5年

お盆号

編集•発行

真言宗豊山派

天明寺

前橋市池端町 503

Tel 027-252-1313

Fax027-225-5075

〒370-3571

# $\mathcal{O}$ 法要 のご

## 八月 日

施 餓 鬼 座 座 先祖 前十 後 供 養 時 新 5 盆 供 養

## 八月十 日

**※** 出 施餓  $\mathcal{O}$ 時 に 間 席 鬼 7 į 座 座 参加 先祖 合のつかない 7 知 午後 5 前 でも結構 ただく 供 せ 養 1 時 時 新 時 盆 L 方 間 供 ま は を 養 す 別 他

**※**法

要

参

加が出来な

1

は

お

. 盆

期

間

中に

お

塔婆を

取 方

1)

下さい。

にお越し 宅で 7 おります。 預か 養法要に参 当寺にて遺骨 ŋ している場 盆を迎え 樹木自然葬 を 5 7 合 永 n 11 代 は へ納 る 新 供

方 自 申 へ の 出 お ください。 参りをご希

も多

ノマあ

´ます

### 心 と体 $\mathcal{O}$ 適 切 な管

まです。 ぎてしま 5 t ようですが スク生 着きつ たら 型 コ 断 L 口 た我 0 は 0 ナウ できま た あ は ス ク お 解 ŋ 7 Þ イ スクに ´ます 禁?とな げ せ  $\mathcal{O}$ ス が カコ せ 生  $\mathcal{O}$ な、 · 慣 活 に 住職 れ 0 ま は す 落

月下. この記 変化 大自然の く最近は 夏場は暑くなることだけ シムシ ることを思 けなけ になるの この 旬。 !が著 して 事 を書 れ 夏はどのくら ゲリラ豪雨に 梅 でしょう ば 0 で 雨 なり 知 ぼ 時 ことを考え け 期 7 ·ません。 間 な存在 が で 1 もや ŧ る ŧ 気温  $\mathcal{O}$ あ 気を で  $\mathcal{O}$ で は ŋ は あ る 4  $\mathcal{O}$ 

benmou@tenmyoji.jp 理 を http://www. tenmyoji.jp 衛するしかありません で 個 こでデマ 段 わ Þ っされ 0) 正 分 を 生  $\mathcal{O}$ 尊 、やっ 1) 重 間 情 を す おい よう 違 報 守 る を る 0 現 ても に自 た 情 仕 入 そ は

が 症  $\mathcal{O}$ リスクもあります。

中

具

△永代供

養、

供

養

並

び

遺

を体 合

骨を預けられ

7 合祀

いる方

は

預

を落ち着か 調管理を 悪くなる前に 水分補給を欠かさず、 せることが大切です せ、 呼吸を整えて心 しっか 穏やか

なに過ご

## 水 .供養堂 樹 木自

となり うし 永代供養堂及び、 増設いたします。 ている区 を新 して 現在、 を をするととも 一は改 木 0 事 ばらくお待ちくださ 自 1  $\mathcal{O}$ 天明寺では今まで使 てお参りください。 Ø ま た永代供 期 然葬墓 しておりま 間 画 てご案内 には た 中はどうぞお 一は現在  $\mathcal{O}$ す 養 ます。永代 整備ま ベ で いたし 7 墓 木 契 分 供 自  $\mathcal{O}$ 区 約 譲 養 解 で 画 ま 済 体 を

# お 盆

 $\mathcal{O}$ 

供

 $\mathcal{O}$ 

た

自

へるこ

己 報

防

ご 回 します お宅に 連絡ください。  $\triangle \Leftrightarrow$ 向 お参 が 日 は 新 ŋ 別 都 紙にてご連 1 伺 お 合  $\mathcal{O}$ 盆 ます。 悪 を お 11 方 絡 迎 は え 11 た  $\mathcal{O}$ 

お参り ンチ) 墓地や納骨堂、ご自宅の △お盆のお塔婆は三尺 のお棚にお立て下さい です。供養の 下さい。 木自 しる しとし 仏 九 + 所 お 7 セ

塔婆を立て に安置、 れ、 ますの され △ 様 を合わせら **※** (えこうのけ お名前 廻向之契證』 な 々な事情でお塔婆を必 てない場合など を書いてお渡 場 することでどこでも れる供養の お申し出くださ **湯合は、** しくはカバ しょう)』 とは <sup>一</sup>廻 証です。 向之契 に故 等に お いく 仏 證 入 壇



オ ち Q うらに ライン視聴 R ア クセ ス は